

松岡 辰郎
別の手段への試行錯誤

仕事の都合で当初の予定より短い2年間で非常勤講師を退任することとなりました。

建築設計教育の場においてCADやCGの扱いというのはまだまだ曖昧でCAD教育とはどうあるべきか……という議論がようやく始まったというのが現状であり、どのように課題を設定し授業を進めていくかという部分に関してはまだまだ試行錯誤の段階を抜け出てはいないと思います。そんな時に途中下車をしてしまうのは非常に残念であるというのが偏らざる気持ちです。

私の担当した設計演習CAD・CGコースでは、単にCADやCGソフトの使い方を覚えて図面や画像を作る……というのではなく、手書きの図面や模型といった今までに修得してきた設計のシステムとは異なる道具と視点で自分の作品を見、または設計をしていくことを主な目標としました。受講者は道具としてのパソコンやCAD・CGソフトの使い方を身につけると同時に設計としての課題を進めなくてはなりませんので、時間的にも大変であったと思います。それでもマウスを持つのも初めて、一所懸命3次元のモデルを作っても模型写真と何ら変わらない見せ方しか思いつかないといった受講者たちが、作品提出の頃には自分の視点の高さで自身の作品の中を歩き回って評価・意思決定をする手段を手に入れることができるようになり、多少なりとも既存の図面を中心とした設計システム以外の方法（のごく入り口）を提示できたのではないかと考えています。

むしろ問題だったのは、一部の先生方の中にあるこのような新しい手法に対する無理解でした。「CADを使うと人間味がなくなる」「本来のデザインがおろそかになる」といった批判は、「ワープロを使う小説家は良い作品を書くことができない」というものと何ら変わりがなく、全くナンセンスであると考えます。今後建築設計教育におけるCAD教育は、まずこうした指導する立場の意識改革から始めなくてはならないのかもしれない。

非常勤講師

建築学コース

- 上利 益弘
(ヘルムース・オバタ・カッサバウム・インク)
- 飯田 善彦
(飯田善彦建築工房)
- 小川 守之
(小川守之建築・設計事務所)
- 奥田 孝次
(TAKAZI OKUDA
デザインコンサルタンツ)
- 川口 とし子
(アーキスタジオ川口一級建築士事務所)
- アストリッド クライン
(クライン・ダイサム・アーキテクツ)
- 小松 清路
(小松清路建築研究所)
- 佐藤 光彦
(佐藤光彦建築設計研究所)
- 椎名 英三
(椎名英三建築設計事務所)

日本大学理工学部建築学科

建築学コース

- 石田 道孝
- 宇杉 和夫
- 片桐 正夫
- 小石川 正男 (短期大学部)
- 関澤 勝一
- 高宮 真介
- 根上 彰生
- 野村 欽
- 本杉 省三
- 柳田 武
- 若色 峰郎

企画経営コース

- 石田 道孝
- 宇於崎 勝也
- 根上 彰生
- 三橋 博巳
- 柳田 武

大学院前期課程建築学専攻

- 高宮 真介
- 本杉 省三
- 若色 峰郎

建築学コース事務担当

- 宇於崎 勝也
- 大川 三雄
- 佐藤 慎也
- 佐藤 直樹
- 重枝 豊
- 八藤後 猛
- 渡辺 富雄

- 白井 勇
(ポロステーションシステム)
- 白江 龍三
(白江建築研究所)
- 杉 千春
(フラネットワークス)
- 曾我部 昌史
(みかんぐみ一級建築士事務所)
- 高橋 晶子
(ワークステーション)
- 高橋 寛
(ワークステーション)
- 田島 夏樹
(田島夏樹+ASSOCIATES)
- 田中 雅美
(シザビハ建築事務所)
- 西沢 立衛
(西沢立衛建築設計事務所)
- 野沢 正光
(野沢正光建築工房)
- 坂 茂
(坂茂建築設計)
- 前田 光一
(包建築設計工房)
- 松岡 辰郎
(NTTファシリティーズ)
- 山崎 敬三
(山崎敬三建築工房)
- 横河 健
(横河設計工房)
- 吉井 信幸
(竹中工務店)
- 吉田 博
(久米設計)

大学院前期課程建築学専攻

- 小泉 雅生
(C+A (シーラカンス アンド アン
シエイツ))
- 水谷 碩之
(アーキプレーン建築研究所)